



亀作町ハイキングコース

距離：約 7.5km 所要時間：3 時間 30 分

今回は、亀作農村集落センターをスタート地点として、亀作町の散策に出発します。以前は入り組んだ細い道路が特徴的な地域でしたが、平成 27 年に国道 293 号バイパスが開通したことにより、各方面への利便性が向上しました。また、江戸時代に「うな井」を考案したことで知られている大久保今助の出身地でもあります。実業家として大成した今助は、故郷に多額の寄進をしたと言われており、現在の明世神社の本殿もその寄進により造られたものです。コースの距離は少々長いですが、自然と歴史を楽しみながら歩いてみてはいかがでしょうか。

4 石祠



階段を上った先に 2 つの石祠が安置されている。地元では明世神社を分祀したものだといわれている
※分祀…本社と同じ祭神を、別の神社を設けて祭ること

5 長峰石仏群



庚申供養塔や二十三夜塔、如意輪観音など約 20 もの石仏や石碑が 1 カ所に集められている。また、すぐ近くには家畜等を供養するための大きな石碑が建てられている

6 明世神社元宮跡



この辺りの地名を五所ノ宮といい、明世神社の元宮といわれる祠がある。この地名は、熊野十二所権現の五所王子に関係しているといわれている。祠へ続く参道の両脇には、シイの大木がある



3 のぼり亀・くだり亀跡



昔、亀作の地名の由来になったとされる大小二つの亀形の塚があり、写真の右の大きい方をのぼり亀、左の小さい方をくだり亀と呼んでいた

2 馬力神



墓地の入り口の一角に馬力神が二つ並んでいる。左は大正 14 (1925) 年、右は昭和 6 (1931) 年に建てられたもの

1 明世神社



最初は悪所神社と称していたが、元禄 12 (1699) 年に徳川光圀によって、明世神社に改められたといわれている。境内には、みどりの文化財に登録された 2 本のカゴノキの巨木がある



案内してくれた地元の皆さん